

「異字同訓」の漢字の用法（合体・検討版 Ver. 2）

赤字＝平成22年「異字同訓」の漢字の用法例（追加字種・追加音訓関連）
 青字＝今回の見直しで、項目として追加しようと考えている「異字同訓」
 及び見出しの変更など検討に関わるメモ等

あう

合う－計算が合う。目が合う。服が体に合う。好みに合う。割に合わない仕事。
 駅で落ち合う。
 会う－客と会う時刻。人に会いに行く。
 遭う－災難に遭う。にわか雨に遭う。

あからむ

赤らむ－顔が赤らむ。
 明らむ－空が明らむ。

あがる・あげる

上がる・上げる－地位が上がる。物価が上がる。腕前を上げる。お祝いの品物を上げる。
 揚がる・揚げる－花火が揚がる。歓声が揚がる。たこを揚げる。船荷を揚げる。
 てんぶらを揚げる。
 挙がる・挙げる－例を挙げる。全力を挙げる。国を挙げて。犯人を挙げる。＋例文

あく・あける

明く・明ける－背の明いた服。目明き千人。夜が明ける。
 空く・空ける－席が空く。空き箱。家を空ける。時間を空ける。
 開く・開ける－幕が開く。開いた口がふさがらない。店を開ける。窓を開ける。

あし

足－足の裏。手足。足しげく通う。客足。
 脚－机の脚（足）。えり脚（足）。船脚（足）。

あたい

価－価が高くて買えない。商品に価を付ける。
 値－そのものの持つ値。未知数xの値を求める。称賛に値する。

あたたかい・あたたかだ・あたたまる・あたためる

暖かい・暖かだ・暖まる・暖める－暖かい心。暖かな毛布。暖まった空気。
 室内を暖める。
 温かい・温かだ・温まる・温める－温かい料理。温かな家庭。心温まる話。
 スープを温める。

あてる（「あたる・あてる」→「あてる」と変更）

当てる…胸に手を当てる。日光に当てる。当て外れ。
 充てる…建築費に充（当）てる。保安要員に充（当）てる。
 宛てる…恩師に宛てて手紙を書く。本社に宛てられた書類。

あつい

暑い—今年の夏は暑い。暑い部屋。暑がり屋。
熱い—熱い湯。
厚い—厚い壁で隔てる。支持者の層が厚い。手厚いもてなし。

あと（「跡」の例文について検討）

跡—足の跡。苦心の跡が見える。容疑者の跡を追う。跡目を継ぐ。
後—後の祭り。後を頼んで行く。後から行く。後になり先になり。
跡…車輪の跡。苦心の跡が見える。父の跡を継ぐ。
痕…傷痕が痛む。壁に残る弾丸の痕。手術の痕（跡）。

あぶら

油—油を流したような海面。ごまの油で揚げる。水と油。火に油を注ぐ。
脂—脂がのる年ごろ。牛肉の脂。脂ぎった顔。

あやしい

怪しい…挙動が怪しい。空模様が怪しい。怪しい人影を見る。
妖しい…妖しい魅力。妖しく輝く瞳。

あやまる

誤る—適用を誤る。誤りを見付ける。
謝る—謝って済ます。手落ちを謝る。

あらい

荒い—波が荒い。気が荒い。金遣いが荒い。
粗い—網の目が粗い。きめが粗い。仕事が粗い。

あらわす・あらわれる

表す・表れる—言葉に表す。喜びを顔に表す。喜びの表れ。
現す・現れる—姿を現す。太陽が現れる。怪獣が現れる。
著す—書物を著す。

ある

有る—財源が有る。子が有る。有り合わせ。有り金。有様。
在る—日本はアジアの東に在る。在り方。

あわせる

合わせる—手を合わせて拝む。時計を合わせる。調子を合わせる。力を合わせる。
併せる—二つの会社を併せる。両者を併せて考える。併せて健康を祈る。

いく・ゆく（「いく」→「いく・ゆく」と変更）

行く…電車で行く。早く行こう。仕事帰りに図書館に行った。行く秋を惜しむ。
逝く…彼が逝って3年たつ。多くの人に惜しまれながら逝った。
多くの人に惜しまれて逝く。

いたむ・いためる

痛む・痛める—足が痛む。腰を痛める。
傷む・傷める—家が傷む。傷んだ果物。建物を傷める。
悼む—死を悼む。故人を悼む。

いる

入る－一念の入った話。気に入る。仲間入り。恐れ入る。
要る－金が要る。保証人が要る。親の承諾が要る。何も要らない。

うける

受ける－注文を受ける。命令を受ける。保護を受ける。相談を受ける。
請ける－請け負う。下請け。

うた

歌…歌を歌う。美しい歌声が響く。
唄…小唄の師匠。長唄を習う。馬子唄が聞こえる。

うたう

歌う－きれいな声で歌う。
謡う－謡曲を謡う。

うつ

打つ－くぎを打つ。碁を打つ。電報を打つ。心を打つ話。打ち消す。
討つ－賊を討つ。義士の討ち入り。相手を討ち取る。
撃つ－鉄砲を撃つ。いのししを猟銃で撃つ。

うつす・うつる

写す・写る－書類を写す。写真を写す。風景を文章に写す。写真の中央に写っている人。
映す・映る－幻燈を映す。スクリーンに映す。壁に影が映る。鏡に姿が映る。
着物がよく映る。

うむ・うまれる

生む・生まれる－新記録を生む。傑作を生む。下町の生まれ。京都に生まれる。
産む・産まれる－卵を産み付ける。産みの苦しみ。産み月。予定日が来てもなかなか産まれない。

うれしい・うれえる（「うれしい・うれえ」→「うれしい・うれえる」と変更。「うれえ」は備考で触れる。）

憂い・憂える－後顧の憂い（え）。災害を招く憂い（え）がある。国の将来を憂える。
愁い・愁える－春の愁い。愁いに沈む。友の死を愁える。

える

得る－勝利を得る。許可を得る。得物を振り回す。
獲る－獲物をねらう。

おかす

犯す－過ちを犯す。法を犯す。
侵す－権利を侵（犯）す。国境を侵（犯）す。
冒す－危険を冒す。激しい雨を冒して行く。

おくる

送る－荷物を送る。卒業生を送る。順に席を送る。送り状。
贈る－お祝いの品を贈る。感謝状を贈る。故人に位を贈る。

おくれる

遅れる－完成が遅れる。列車が遅れる。会合が遅れる。
後れる－気後れする。人に後れを取る。後れ毛。

おこす・おこる

起こす・起こる－体を起こす。訴訟を起こす。朝早く起こす。事件が起こる。
持病が起こる。物事の起こり。

興す・興る－産業を興す。国が興る。

おさえる

押さえる－紙の端を押さえる。証拠を押さえる。要点を押さえる。差し押さえる。
抑える－物価の上昇を抑える。要求を抑える。怒りを抑える。

おさまる・おさめる

収まる・収める－博物館に収まる。争いが収まる。効果を収める。成功を収める。
目録に収める。

納まる・納める－品物が納まった。国庫に納まる。税を納める。注文の品を納める。

治める・治まる－国内がよく治まる。痛みが治まる。領地を治める。

修まる・修める－身持ちが修まらない。学を修める。

おす

押す－ベルを押す。横車を押す。押し付けがましい。

推す－会長に推す。推して知るべしだ。

おそれる（「おそれる」→「おそれ・おそれる」と変更。「虞」は備考で触れる。※日本国憲法・第82条：…公の秩序又は善良の風俗を害する虞があると…。）

恐れ・恐れる…死への恐れが強い。死を恐れる。報復を恐れて逃亡する。

失敗を恐れるな。

畏れ・畏れる…神仏に対する畏（恐）れ。師を畏れ敬う。神を畏（恐）れる。

畏（恐）れ多いお言葉。

おどる

踊る－リズムに乗って踊る。踊らされて動く。盆踊り。踊り子。

躍る－馬が躍り上がる。小躍りして喜ぶ。胸が躍る。

おもて

表－裏と表。表で遊ぶ。表向き。

面－面も振らずまっしぐらに。矢面に立つ。

おりる・おろす

降りる・降ろす－電車を降りる。高所から飛び降りる。月面に降り立つ。霜が降りる。
次の駅で降ろして下さい。主役から降ろされた。

下りる・下ろす－幕が下りる。錠が下りる。許可が下りる。枝を下ろす。貯金を下ろす。
卸す－小売りに卸す。卸値。たな卸し。

かえす・かえる

返す・返る－もとの持ち主に返す。借金を返す。恩返し。貸した金が返る。正気に返る。
返り咲き。

帰す・帰る－親もとへ帰す。故郷へ帰る。帰らぬ人となる。帰り車。

かえりみる

顧みる－過去を顧みる。顧みて他を言う。

省みる－自らを省みる。省みて恥じるところがない。

かえる・かわる

変える・変わる－形を変える。観点を変える。位置が変わる。心変わりする。声変わり。変わり種。

換える・換わる－物を金に換える。名義を書き換える。車を乗り換える。金に換わる。

替える・替わる－振り替える。替え地。替え歌。二の替わり。入れ替わる。社長が替わる。

代える・代わる－書面をもってあいさつに代える。父に代わって言う。身代わりになる。

かおり・かおる（「かおる」→「かおり・かおる」に変更）

薰り・薰る－文化の薰り。風薰る。

香り・香る－茶の香り。梅の花が香る。

かかり

係－会場の案内係。

掛－駅の出札掛（係）。

かかる・かける

掛かる・掛ける…迷惑が掛かる。腰を掛ける。保険を掛ける。壁掛け。掛け売り。

懸かる・懸ける…月が中天に懸かる。優勝が懸かる。賞金を懸ける。命を懸けて。

架かる・架ける…橋が架かる。橋を架ける。電線を架ける。

係る…本件に係る訴訟。係り結び。係員。

賭ける…大金を賭ける。人生を賭（懸）けた勝負。名誉を賭（懸）けて誓う。

かく

書く…小説を書く。日記を書く。小さな字で書かれた本。

描く…油絵を描く。ノートに地図を描く。

かげ

陰－山の陰。陰の声。陰口を利く。

影－障子に影が映る。影を隠す。影も形もない。影が薄い。

かた

形－自由形。跡形もなく。

型－型にはまる。1970年型。血液型。鋳型。

かたい

堅い－堅い材木。堅炭。手堅い商売。

固い－団結が固い。固練り。頭が固い。固く信じる。

硬い－硬い石。硬い表現。

かたまり

塊－牛肉の塊を買う。

固まり－固まり具合を見る。

かま

釜－鍋と釜。釜飯。

窯－炭を焼く窯。

かわ

皮－皮をはぐ。とらの皮。木の皮。面の皮。化けの皮。

革－革のくつ。なめし革。

かわ (使い分けを示せるか。「川」が一般的とでも書くか。※「言葉に関する問答集15」(文化庁,平成元):戦前は,外国の大きな川に限って「河」を書く習慣があった。)川—川岸。川沿いの家。川向こう。(一般用語)河—(本来,「黄河」を指した。)※常用漢字表・付表:かわら(河原・川原)

かわく

乾く—空気が乾く。干し物が乾く。乾いた土。
渴く—のどが渴く。渴きを覚える。

きく

聞く—物音を聞いた。話し声を聞く。うわさを聞く。聞き流しにする。
聴く—音楽を聴く。国民の声を聴く。

きく

効く—薬が効く。宣伝が効く。効き目がある。
利く—左手が利く。目が利く。機転が利く。

きる

切る…野菜を切る。期限を切る。電源を切る。縁を切る。
斬る…刀で斬(切)る。敵を斬(切)り殺す。世相を斬(切)る。

きわまる・きわめる

窮まる・窮める—進退窮まる。窮まりなき宇宙。真理を窮(究)める。
極まる・極める—不都合極まる言動。山頂を極める。栄華を極める。見極める。
究める—学を究(窮)める。

くら

倉—倉敷料。倉荷証券。
蔵—蔵屋敷。蔵払い。

こう

請う…許可を請(乞)う。紹介を請(乞)う。案内を請(乞)う。
乞う…乞う御期待。命乞いをする。雨乞いの儀式。慈悲を乞う。

こえる・こす

越える・越す—山を越える。峠を越す。年を越す。引っ越す。
超える・超す—現代を超(越)える。人間の能力を超(越)える。
百万円を超(越)える額。一千万人を超(越)す人口。

こおり・こおる(「こおる・こおり」→「こおり・こおる」に変更)

凍り・凍る—凍り豆腐。湖水が凍る。土が凍る。
氷—氷が張った。氷をかく。氷砂糖。

こたえる

答える…質問に答える。正確に答える。
応える…期待に応える。時代の要請に応える。

こむ

混む…電車が混(込)む。混(込)み合う店内。人混(込)みを避ける。
込む…負けが込む。手の込んだ細工を施す。仕事を立て込む。

さがす

捜すーうちの中を捜す。犯人を捜す。
探すー空き家を探(捜)す。あらしを探(捜)す。

さく

裂くー布を裂く。仲を裂く。引き裂く。
割くー時間を割く。紙面を割く。人手を割く。

さげる

下げるー値段を下げる。軒を下げる。
掲げるー手に掲げる。手提げかばん。

さす

差すー腰に刀を差す。かさを差す。差しつ差されつ。行司の差し違え。抜き差しならぬ。
差し支え。差し出す。
指すー目的地を指して進む。名指しをする。指し示す。
刺すー人を刺す。布を刺す。本塁で刺される。とげが刺さる。

※「さす」に以下を追加

挿すー花瓶に花を挿す。

さます・さめる

覚ます・覚めるー太平の眠りを覚ます。迷いを覚ます。目が覚める。寝覚めが悪い。
冷ます・冷めるー湯冷まし。湯が冷める。料理が冷める。熱が冷める。

さわる

触るーそっと手で触る。
障るー激務が体に障る。

しずまる・しずめる

静まる・静めるー心が静まる。あらしが静まる。鳴りを静める。気を静める。
鎮まる・鎮めるー内乱が鎮まる。反乱を鎮める。痛みを鎮める。
沈めるー船を沈める。

しぼる

絞るー手ぬぐいを絞る。絞り染め。
搾るー乳を搾る。搾り取る。

しまる・しめる

締まる・締めるーひもが締まる。引き締まった顔。帯を締める。ねじを締める。心を引き締める。申し込みの締め切り。
絞まる・絞めるー首が絞まる。首を絞める。羽交い絞め。
閉まる・閉めるー戸が閉まる。ふたを閉める。店を閉める。

すすめる

進めるー前へ進める。時計を進める。交渉を進める。
勧めめるー入会を勧めめる。転地を勧めめる。
薦めるー候補者として薦める。

する

刷るー名刺を刷る。刷り物
擦るー転んでひざを擦りむく。擦り傷。洋服が擦り切れる。

すわる

座る 一椅子に座る。
据わる 一赤ん坊の首が据わる。

せめる

攻める 一敵の陣地を攻める。
責める 一過失を責める。

そう

沿う 一川沿いの家。線路に沿って歩く。
添う 一影の形に添うように。連れ添う。付き添い。

そなえる・そなわる

備える・備わる 一台風に備える。調度品を備える。老後の備え。必需品はすべて備わっている。人徳が備わる。
供える 一お神酒を供える。お供え物。

たえる

堪える 一任に堪える。鑑賞に堪えない。遺憾に堪えない。
耐える 一重圧に耐（堪）える。風雪に耐（堪）える。困苦欠乏に耐（堪）える。

たずねる

尋ねる 一道を尋ねる。由来を尋ねる。尋ね人。
訪ねる 一知人を訪ねる。史跡を訪ねる。明日お訪ねします。

たたかう

戦う 一敵と戦う。
闘う 一病氣と闘う。

たつ

断つ 一退路を断つ。快刀乱麻を断つ。茶断ち。
絶つ 一命を絶つ。縁を絶つ。消息を絶つ。後を絶たない。
裁つ 一生地を裁つ。紙を裁つ。裁ちばさみ。

たつ・たてる

立つ・立てる 一演壇に立つ。席を立つ。使者に立つ。危機に立つ。見通しが立つ。うわさが立つ。立ち合う。柱を立てる。計画を立てる。手柄を立てる。顔を立てる。立て直す。
建つ・建てる 一家が建つ。ビルを建てる。銅像を建てる。建て前。

たつとい・とうとい・たつとぶ・とうとぶ（「たつとい・とうとい」→「たつとい・とうとい・たつとぶ・とうとぶ」に変更。※昭和23年「当用漢字音訓表」：尊（ソン・たつとい）、貴（キ）→昭和47年の改定でそれぞれ訓を追加。）

尊い・尊ぶ 一尊い神。尊い犠牲を払う。神仏を尊ぶ。
貴い・貴ぶ 一貴い資料。貴い体験。時間を貴ぶ。

たま

玉 一玉にきず。目の玉。玉をみがく。
球 一電気の球。球を投げる。
弾 一ピストルの弾。

つかう

使う－機械を使って仕事をする。重油を使う。
遣う－気遣う。心遣い。小遣い銭。仮名遣い。

つく・つける

付く・付ける－墨が顔に付く。味方に付く。利息が付く。名を付ける。気を付ける。
条件を付ける。付け加える。
着く・着ける－席に着く。手紙が着く。東京に着く。船を岸に着ける。仕事に手を着ける。
衣服を身に着ける。
就く・就ける－床に就く。緒に就く。職に就く。役に就ける。

つぐ

次ぐ－事件が相次ぐ。富士山に次ぐ山。取り次ぐ。次の間。
継ぐ－布を継ぐ。跡を継ぐ。引き継ぐ。継ぎ目。継ぎを当てる。
接ぐ－木を接ぐ。骨を接ぐ。接ぎ木。

つくる

作る…米を作る。規則を作る。詩を作る。刺身に作る。生け作り。
造る…船を造る。庭園を造る。酒を造る。
創る…新しい文化を創(作)る。画期的な商品を創(作)り出す。

つつしむ

慎む－身を慎む。酒を慎む。言葉を慎む。
謹む－謹んで聞く。謹んで祝意を表する。

つとまる・つとめる (「つとまる」と「つとめる」を合体)

勤まる・勤める…私にはこの会社は勤まらない。彼にも十分勤(務)まる仕事だ。
会社に勤める。永年勤め上げた人。本堂でお勤めをする人。勤め人。
務まる・務める…彼には主役は務まらないだろう。会長が務まるかどうか不安だ。
議長を務める。主役を務める。主婦の務めを果たす。
努める－完成に努める。解決に努める。努めて早起きする。

とく・とける (「とく・とける」→「とかす・とく・とける」に変更)

解かす・解く・解ける－氷を解かす。結び目を解く。包囲を解く。問題を解く。
会長の任を解かれる。ひもが解ける。雪解け。疑いが解ける。
溶かす・溶く・溶ける－絵の具を溶かす。絵の具を溶く。砂糖が水に溶ける。
地域社会に溶け込む。

ととのう・ととのえる

整う・整える－整った文章。隊列を整える。身辺を整える。調子を整える。
調う・調える－嫁入り道具が調う。晴れ着を調える。味を調える。費用を調える。

とぶ

飛ぶ－鳥が空を飛ぶ。アメリカに飛ぶ。うわさが飛ぶ。海に飛び込む。家を飛び出す。
飛び石。
跳ぶ－みぞを跳ぶ。三段跳び。跳びはねる。

とまる・とめる

止まる・止める－交通が止まる。水道が止まる。笑いが止まらない。息を止める。
通行止め。
留まる・留める－小鳥が木の枝に留(止)まる。ボタンを留める。留め置く。書留。
泊まる・泊める－船が港に泊まる。宿直室に泊まる。友達を家に泊める。

とらえる

捕らえる…犯人を捕らえる。獲物の捕らえ方。
捉える…文章の要点を捉える。問題の捉え方が難しい。

とる

取る―一手に取る。着物の汚れを取る。資格を取る。メモを取る。連絡を取る。年を取る。
採る―血を採る。高校の卒業生を採る。会議で決を採る。
執る―筆を執る。事務を執る。式を執り行う。
捕る―ねずみを捕る。生け捕る。捕り物。
撮る―写真を撮る。映画を撮る。

ない

無い―金が無い。無い物ねだり。
亡い―今は亡い人。亡き父をしのぶ。

なおす・なおる

直す・直る―誤りを直す。機械を直す。服装を直す。故障を直す。ゆがみが直る。
治す・治る―風邪を治(直)す。けがが治(直)る。治(直)らない病気。

なか

中―箱の中。両者の中に入る。
仲―仲がいい。仲を取り持つ。仲働き。

ながい

長い―長い髪。長い道。気が長い。枝が長く伸びる。
永い―ついに永い眠りに就く。永の別れ。末永く契る。

ならう

習う―先生にピアノを習う。見習う。
倣う―前例に倣う。

におい・におう

匂い・匂う…梅の花の匂い。香水がほのかに匂う。
臭い・臭う…魚の腐った臭い。生ごみが臭う。

のせる・のる

乗せる・乗る―母を飛行機に乗せて帰す。電波に乗せる。計略に乗せる。電車に乗って行く。馬に乗る。風に乗って飛ぶ。時流に乗る。相談に乗る。
載せる・載る―自動車に貨物を載せる。たなに本を載せる。雑誌に広告を載せる。机に載っている本。新聞に載った事件。

のぞむ

望む―山頂から富士を望む。
臨む―開校記念式典に臨む。

のばす・のびる・のべる (「のばす・のびる」と「のべる」を合体)

伸ばす・伸びる・伸べる―手足を伸ばす。勢力を伸ばす。草が伸びる。身長が伸びる。
学力が伸びる。伸び伸びと育つ。手を伸べて助け起こす。
救いの手を伸べる。
延ばす・延びる・延べる―出発を延ばす。開会を延ばす。地下鉄が郊外まで延びる。
寿命が延びる。支払いが延び延びになる。
出発の期日を延べる。布団を延べる。金の延べ棒。

のぼる

上る—水銀柱が上る。損害が一億円に上る。川を上る。坂を上る。上り列車。
登る—山に登る。木に登る。演壇に登る。
昇る—日が昇（上）る。天に昇（上）る。

はえ・はえる

映え・映える—夕映え。紅葉が夕日に映える。
栄え—栄えある勝利。見事な出来栄え。見栄えがする。

はかる

図る—合理化を図る。解決を図る。便宜を図る。
計る—時間を計る。計り知れない恩恵。まんまと計られる。
測る—水深を測る。標高を測る。距離を測る。面積を測る。測定器で測る。
量る—目方を量る。升で量る。容量を量る。
謀る—暗殺を謀る。悪事を謀る。
諮る—審議会に諮る。

はじまる・はじめ・はじめて・はじめ

初め・初めて—初めこう思った。初めての経験。
始まる・始め・始める—会が始まる。始めと終わり。御用始め。仕事を始める。

はな

花—花も実もない。花の都。花形。
華—華やか。華々しい。

はなす・はなれる

離す・離れる—間を離す。駅から遠く離れた町。離れ島。職を離れる。離れ離れになる。
放す・放れる—鳥を放す。見放す。放し飼い。矢が弦を放れる。放れ馬。

はやい・はやまる・はやめる（「はやい」と「はやまる」を合体し、「はやめる」を追加）

早い・早まる・早める—時期が早い。気が早い。早く起きる。早変わり。早口。
矢継ぎ早。出発時間が早まる。順番が早まる。早まった行動。
出発時間を早める。
速い・速まる・速める—流れが速い。投手の球が速い。テンポが速い。車の速さ。
回転のスピードが速まる。脈拍が速まる。足を速める。

はる

張る……氷が張る。テントを張る。策略を張り巡らす。張りのある声。
貼る……ポスターを貼る。切手を貼り付ける。タイル貼（張）りの壁。

ひ

火—火が燃える。火に掛ける。火を見るより明らか。
燈—燈がともる。遠くに町の燈が見える。

ひく

引く—綱を引く。線を引く。例を引く。車を引く。
弾く—ピアノを弾く。ショパンの曲を弾く。

ふえる・ふやす

殖える・殖やす—財産が殖える。財産を殖やす。
増える・増やす—人数が増える。水かさが増える。人数を増やす。

ふく

吹く一風が吹く。笛を吹く。
噴く一火を噴き出す。火山が煙を噴く。

ふける

更ける一夜が更ける。秋が更ける。
老ける一老けて見える。老け込む。

ふた

二一重。二目と見られない。二つ折り。
双一双子。双葉。

ふね

舟一舟をこぐ。小舟。ささ舟。
船一船の甲板。船で帰国する。船旅。親船。

ふるう

振るう一士気が振るう。事業が振るわない。刀を振るう。
震う一声を震わせる。身震い。武者震い。
奮う一勇気を奮って立ち向かう。奮って参加する。奮い立つ。

ほか

外…思いの外に到着が早かった。想像の外の事件が起こる。
他…この他に用意するものはあるか。他の人にも尋ねる。

まざる・まじる・まぜる

交ざる・交じる・交ぜる一麻が交ざっている。漢字仮名交じり文。交ぜ織り。
混ざる・混じる・混ぜる一酒に水が混ざる。西洋人の血が混じる。異物が混じる。
雑音が混じる。セメントに砂を混ぜる。絵の具を混ぜる。

まち

町一町と村。町ぐるみの歓迎。町役場。下町。
街一街を吹く風。学生の街。街の明かり。

まるい

丸い一背中が丸くなる。丸く治める。丸ごと。丸太。日の丸。
円い一円(丸)い窓。円(丸)く輪になる。

まわり

回り一身の回り。胴回り。
周り一池の周り。周りの人。

みる

見る一遠くの景色を見る。エンジンの調子を見る。面倒を見る。
診る一患者を診る。脈を診る。

もと

下一法の下に平等。一撃の下に倒した。
元一火の元。出版元。元が掛かる。
本一本を正す。本と末。
基一資料を基にする。基づく。

や

屋一屋根。酒屋。屋敷。
家一二階家。家主。家賃。

やさしい

易しい一易しい問題が多い。
優しい一彼は誰にも優しい。

やぶる・やぶれる

破る・破れる一約束を破る。障子が破れる。平和が破れる。
敗れる一競技に敗れる。勝負に敗れる。人生に敗れる。

やわらかい・やわらかだ

柔らかい・柔らかだ一柔らかい毛布。身のこなしが柔らかだ。物柔らかかな態度。
軟らかい・軟らかだ一表情が軟(柔)らかい。軟(柔)らかい話。軟(柔)らかな土。

よ

世一世の中が騒然とする。
代一明治の代(世)となる。※明治の代：124万、明治の世：107万(Yahoo!検索結果。
順番も含め完全一致。日本及び日本語のページに限定。)

よい

良い一品質が良い。成績が良い。手際が良い。
善い一善い行い。世の中のために善いことをする。

よむ

読む一本を読む。字を読む。人の心を読む。秒読み。
詠む一和歌を詠む。一首詠む。

わかれる

分かれる一道が二つに分かれる。意見が分かれる。勝敗の分かれ目。
別れる一幼い時に両親と別れる。友と駅頭で別れる。家族と別れて住む。

わく

沸く…湯が沸く。風呂が沸く。すばらしい演技に場内が沸く。
湧く…温泉が湧く。勇気が湧く。盛大な拍手が湧(沸)く。

わざ

業一至難の業。離れ業。軽業。業師。
技一柔道の技。技をみがく。

わずらう・わずらわす

煩う・煩わす一思い煩う。人手を煩わす。心を煩わす。
患う一胸を患う。三年ほど患う。

